

2016年10月21日

## ユニアデックス IT アウトソーシングサービスの範囲を拡大し、取り組みを強化 — 包括的サポートで ICT 環境全体最適化を促進し、お客さまの事業に貢献 —

ユニアデックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：東 常夫、以下 ユニアデックス）は、ICT インフラシステムに対する IT アウトソーシング（以下 ITO）への取り組みを強化するため、これまでのサービス範囲を拡大し包括的な「ITO サービス」の提供を開始します。

ユニアデックスは、1997年の会社設立以降、リモートセンターからシステムや機器などの運用監視サービス、クライアント PC に対するライフサイクルマネジメントサービス、常駐や訪問での運用業務代行など、さまざまな運用サービスを提供してきました。このたび、お客さまを取り巻く環境の変化に対応するため、サービスの範囲を拡大した包括的な「ITO サービス」を提供し、お客さまの ICT 環境全体の最適化を支援します。

企業の ICT システムに関連して発生する業務は、企画・設計・構築から運用に至るまで多岐に渡ります。

このたび、ユニアデックスの「ITO サービス」では、それらの全ての業務を対象にしたアウトソーシングサービスの提供が可能となるため、お客さまは本来の業務に注力することができます。また、業務支援だけでなく、サーバー機器やネットワーク機器などのインフラ機器やクライアント PC 端末に関するサービスも提供するため、お客さまの要望に応じた包括的な「ITO サービス」を実現します。加えて、ICT インフラ環境（クラウド、オンプレミス）を問わず、運用・保守全般を最適化し、お客さまが自社のビジネス拡大に注力できる環境を整備します。

ユニアデックスの「ITO サービス」の特徴は、以下のとおりです。

### 1. 運用業務体制の最適化によるコスト削減

多くの企業において個別最適で導入されているシステムに対し、運用業務内容の見直しや標準化を行い、効率化・省力化・統合化を強力に推進します。また、ユニアデックスの持つ全国サービス拠点やリモートセンターを活用し、運用体制の最適化を進めコスト削減に努めます。

### 2. 業務見直しにより本業回帰を支援

お客さまは、運用・保守業務などの実行機能をアウトソースすることにより、ICT 戦略立案や企画業務などの上流工程にリソースを集約できます。さらに、ユニアデックスの「ITO サービス」では上流工程も含めた一括運用サポートも提供可能なため、お客さまは本来の業務に注力することができます。

### 3. 運用業務の標準化により属人化を排除しリスク低減

属人化やブラックボックス化しがちな運用業務の見える化を行い、運用業務の標準化や手順化を推進します。これにより、人に依存しない業務実施体制を確立し、障害発生時や担当者不在時などにおける業務中断や業務品質低下のリスクを低減します。

### 4. サービス品質の可視化と向上

「ITO サービス」を提供するにあたり、SLA、KPI などの定義や測定などのサービス品質管理を実施します。また、継続的に業務の見直しと改善を行うことで、サービスレベルの向上を目指します。

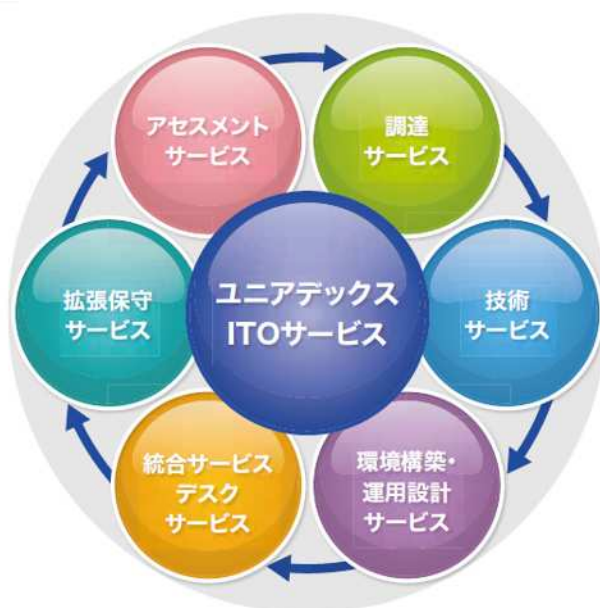
今後もユニアデックスは、「ITOサービス」の機能拡張を行い、さらなる効率化・高度化を推進し、お客様のICT環境全体の最適化を支援していきます。すでに、500社を超えるお客様に対し「ITOサービス」を提供しており、2017年度には132億円の売上を目指します。

## ■ 「ITO サービス」概要

### 1. ICT 環境全体最適化を進め、お客様の課題を解決



### 2. 「ITO サービス」全体像



#### ※関連リンク

- ・ 「IT アウトソーシングサービス (ITO サービス)」 <http://www.uniadex.co.jp/service/ito/>
- ・ 「ユニアデックス ITO サービス (カタログ)」  
[http://www.uniadex.co.jp/catalog/files/010901638-0\\_ITO\\_WEB.pdf](http://www.uniadex.co.jp/catalog/files/010901638-0_ITO_WEB.pdf)

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。